

中央区

平成24年（2012年）7月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第5号

1 平成24年度(2012年)第1回会議の概要

中央区では、「地域が主役のまちづくり活動」を実践するため、平成22年度に「中央区まちづくり会議」を設置し、これまでさまざまな情報提供や意見交換を行ってきました。去る6月11日には今年度第1回目の会議が開催され、始めに中央区市民部長から、これまでの中央区まちづくり会議の取組の振り返りと、平成24年度も引き続き「地域防災」をテーマに地域での活動が広く実践されるよう取り組んでいくことなどについて説明がありました。

その後、中央区保健福祉部保健福祉課長から HUG（避難所運営図上訓練）についての説明があり、続いて会議参加者の皆さんに、実際に HUG を模擬体験していただきました。



HUG（避難所運営図上訓練）とは？

Hinanzyo(避難所) Unei(運営) Game(ゲーム)の頭文字をとったもので、「ハグ」と読みます。もともとは東海大地震に備え、静岡県が開発した図上訓練のこと。避難者に見立てたカードを、避難所となる学校の体育館や教室にどのように配置をすべきか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対処すべきか模擬体験することを通じ、避難所運営について具体的にイメージしたり、日頃の防災意識を高めることができる。今回は中央区でも使い勝手が良いように、一部修正・改良して使用しました。



模擬体験の様子①



模擬体験の様子②



会場全景

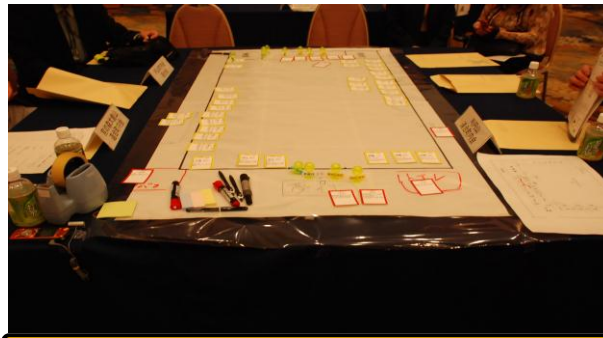
184 世帯番号【 61 】
【 東円山地区 】

タケウチ
竹内 さん
【 男 42 歳 】 一部損壊

世帯主、妻、長男、長女

長男が風邪。高熱と咳がひどい。インフルエンザの可能性あり。ダックスフント1匹を連れてきた。

避難者カードの例



模擬体験中の机上の様子

129 イベント番号【31】

近所のスーパーですが、お惣菜90食分を提供します。みなさんでお召し上がってください。

出来事(イベント)の例

2 HUG 模擬体験後の意見交換の内容(抜粋)

出席者からのご意見 (抜粋)

◆HUG を進めるにあたって、はじめに、避難所に何が用意されているといった条件をもっとはっきり示して欲しかった。

◆今回の HUG の図面には花壇などの情報がないのだが、**より詳細な状況**が記載してあれば、もっと現実的な訓練になるのでは。

◆本日の HUG は、あくまで入り口の部分、体験と言うこと。これを参考にして、細かい部分は**それぞれの地域に合わせて、地域で訓練**することが大事だと思う。

◆運動会の場所取りのように早い者勝ちにならないよう、避難所の運営スタッフが**いかに避難者をうまく誘導できるか**が重要であると思う。

出席者からのご質問 (抜粋)

◆現在、個人情報保護の問題などもあり、**災害時に一人では避難することのできない方、介助を必要とする方**が町内にどれくらいいるか、町内会として、よくわからない。民生委員・児童委員や社会福祉協議会等とも連携を取って、スムーズに避難誘導できる仕組みが必要ではないか。

◆災害時などの**いざというときに、医師が地域に来てくれるような医療の仕組み**があればありがたいと思うのですが…。

行政(区役所など)から

■大変重要な観点であると認識している。**災害時の要援護者への避難支援**として、実態把握や個人情報保護の問題も含めて、現在進めているところ。今後とも町内会の皆様のご協力を仰ぎながら進めてまいりたい。

■医師会が中心となって登録制で医療チームを作っており、大規模な災害発生時には、ここから、**現地や保健センターに医師や看護師が派遣される仕組み**がある。医師会とのより一層の連携のもと、本システムの充実を図っていきたい。

